SONY®

4-456-209-**01**(1)

デジタル スチルカメラ

取扱説明書

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

DSC-TX30

⚠警告 安全のために

→ 82 ～ 85ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら ➡
❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ 相談窓口に連絡する

裏表紙に**相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

内蔵メモリーおよびメモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、内蔵メモリーのデータやメモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i対応機です。
- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、長時間見ないようご注意ください。
- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。
  3D画像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D画像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
  本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
  なお、お子さま（特に6歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D画像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成します。次の操作まで時間がかかることがあります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 長時間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット]（71ページ）を行ってください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください（78ページ）。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布等で清掃してください。

モニターについてのご注意

- モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- モニターを強く押さないでください。モニターにムラが出たり、モニターの故障の原因になります。

ソニー製純正アクセサリーをお使いください

純正品以外のアクセサリーをお使いになると、故障の原因になることがあります。

- 純製品以外のマグネット付きケースは、電源誤作動を起こす場合があります。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなりますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"（DCF）に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

AVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

AVCHD動画をパソコンに取り込むときは、 Windowsの場合は「PlayMemories Home」、Macの場合はMacにバンドルされているソフトウェア「iMovie」を使用してください。

他機での動画再生に際してのご注意

- 本機は、 AVCHD方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格非対応の機器

  また、本機は、 MP4方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。
  DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

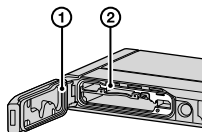
万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

防水/防塵・耐衝撃性能について

本機は防水/防塵性能、耐衝撃性能を強化していますが、誤った使いかたによる故障は保障の対象外となります。

- JIS保護等級IP68相当の防水/防塵性能があります。水深10 m/60分までの撮影が可能です。
- 高い水圧がかかることがあるため、水道などからの勢いのある水を、直接あてないでください。
- 温泉で使用しないでください。
- 推奨動作温度0℃から+40℃の水温でご使用ください。
- 耐衝撃性能はMIL-STD810F Method 516.5-Shock（米・国防省衝撃テスト基準）に準拠した厚さ5cmの合板上での1.5mからの落下にて当社内部テストをクリアしております。*
  - * すべての状態において、無破損・無故障・防水性能を保証するものではありません。
- 防塵・耐衝撃性能については、傷やへこみがつかないことを保証するものではありません。
- 落下などの強い衝撃を与えた場合は、防水性能を保証しません。修理相談窓口での点検をおすすめします（有料）。
- 付属品は防水/防塵・耐衝撃仕様ではありません。

水中・水辺で使用する前のご注意

- 砂、髪の毛、ほこりなどの異物を、バッテリー /メモリーカードカバーに挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水の原因となります。
- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面に傷がついていないことを確認してください。わずかな傷でも浸水の原因になります。傷がついてしまった場合は、修理相談窓口にご相談いただき、防水パッキンを交換してください（有料）。

① 防水パッキン
② 防水パッキンの当たる面

- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面にゴミや砂がついているときは、繊維の残らない柔らかい布等で拭き取ってください。バッテリー充電時やケーブル使用時に、防水パッキンに触れて傷をつけないようにしてください。
- 水辺での使用中や、手に水や砂がついているときは、絶対にバッテリー /メモリーカードカバーの開け閉めをしないでください。水や砂が本機の中に入って故障の原因となります。カバーを開ける前に必ず、「水中・水辺で使用した後のお手入れ」を行ってください。

- 完全に乾いた状態でカバーを開けてください。
- 必ずバッテリー/メモリーカードカバーが確実にロックされていることを確認してください。

水中・水辺で使用中のご注意

- モニター上のアイコンに水滴がかかるとタッチパネルが反応する場合があります。水辺での撮影時は、モニター右側のDISP OFFをタッチしてモニターのアイコンを非表示にすることをおすすめします。もう一度アイコンを表示するにはDISP ONを長押ししてください。
- 水中ではタッチパネルを使用できません。撮影は本機のボタンで操作を行ってください。
- 水中に飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。
- 水中・水辺で、バッテリー/メモリーカードカバーの開け閉めを行わないでください。
- 本機は水中で沈みます。水没防止のためにリストストラップをご使用ください。
- 水中でのフラッシュ撮影時、浮遊物に反射してぼんやりとした白く丸い点が発生することがあります。故障ではありません。
- 水中での撮影時に画像の歪みが気になる場合は、シーンセレクションで(水中)モードに設定してください(49ページ)。
- レンズに水滴等がついていると、きれいに撮影できないことがあります。
- 砂が舞っている水中では、レンズカバーの開閉はしないでください。

水中・水辺で使用した後のお手入れ

- 使用後は60分以内で、バッテリー/メモリーカードカバーを開ける前に必ず水洗いしてください。見えないところに水や砂が入り込んでいることがあり、塩、砂等を付着したままにしておくと防水性能が劣化します。
- 容器にためた真水に5分程度つけ置いてから、水の中で本体を揺すったり、各ボタンやズームレバー、レンズカバーを動かして、ボタンやレンズカバーのすきまに入った塩、砂等をしっかりと洗い流してください。

- 洗ったあと、柔らかい布で水滴を拭き取り、風通しの良い日陰で充分に乾かしてください。ドライヤーの熱風で乾燥させると、変形により、防水性能が劣化するおそれがあるため行わないでください。
- バッテリー/メモリーカードカバーの内側に水滴や異物が残っていたら、やわらかい乾いた布でふき取ってください。
- 本機は水抜き構造となっており、電源ボタンやズームレバーなどのすきまに入った水が外に出てきます。水につけたあとは、しばらく乾いた布の上に本機を立てて置き、水を抜いてください。
- 水につけた際には泡が出ることがありますが、故障ではありません。

- 日焼け止めやサンオイルが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。付着させてしまった場合は速やかに拭き取ってください。
- 塩水に浸した状態や塩水が付着した状態で放置しないでください。腐食や変色、防水性能の劣化の原因になります。
- 防水性能を維持するために、1年に1回はお買い上げ時の販売店か修理相談窓口にご相談いただき、バッテリー /メモリーカードカバーの防水パッキンを交換することをおすすめします（有料）。

モニターに表示されるメッセージについて

バッテリーを交換すると、本体モニター上に、下記のようなメッセージが、毎回表示されます。

**"水中・水辺でご使用の際は
矢印のカバー部に異物・破損が無いことを確認ししっかりと閉めてから
[OK]を押してください"**

これは、本体の異常を意味するメッセージではありません。

防水機能を保つ上でご使用前にご確認いただきたい内容を表示しております。

メッセージの表示されているエリアをタッチして、メッセージを消してからご使用ください。

目次

カメラの設定を変える …… 63

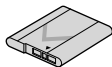
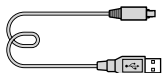
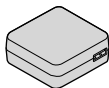
その他 …… 72

準備する

付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

（　）内の数字は個数です。

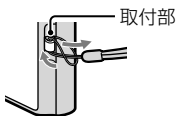
• リチャージャブルバッテリーパックNP-BN..............................（1）
（NP-BN1同梱サイバーショットではご使用になれません。）

• マイクロUSBケーブル..........（1）

• ACアダプター AC-UB10/UB10B/UB10C/UB10D.......（1）

• リストストラップ...................（1）

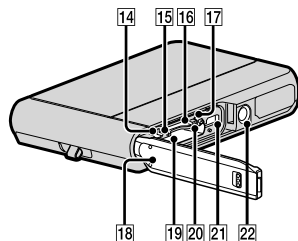
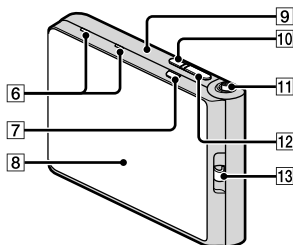
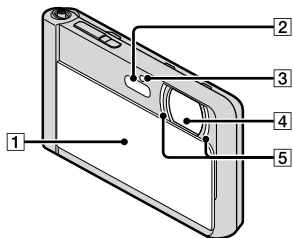
• 取扱説明書（本書）....................（1）
• 防水に関するご注意...............（1）
• 保証書..（1）

ご注意

• 付属品は防水/防塵・耐衝撃仕様ではありません。

リストストラップを使う

落下防止、水没防止のため、ストラップを取り付け、手を通してご使用ください。

各部の名前を確認する

（　）内の数字は、参照ページです。

1 レンズカバー（24）
2 フラッシュ（45）
3 セルフタイマーランプ（47）/スマイルシャッターランプ（66）/AF補助光（69）
4 レンズ
5 LEDライト（36）
6 マイク
7 MOVIE（ムービー）（動画）ボタン（28）
8 有機ELモニター/タッチパネル（26）
9 スピーカー（内蔵）
10 ON（オン）/OFF（オフ）（電源）ボタン（24）
11 W/T（ズーム）レバー（27、35、53）
12 シャッターボタン（27）
13 リストストラップ取り付け部（12）
14 マルチ/マイクロUSB端子*（16、59）
15 充電ランプ
16 メモリーカード挿入口（21）
17 取りはずしつまみ（15、20）
18 バッテリー/メモリーカードカバー（15、21）
19 バッテリー挿入口（15）
20 アクセスランプ（23）
21 HDMIマイクロ端子

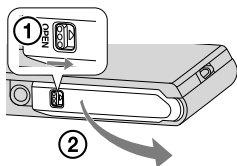
22 三脚用ネジ穴

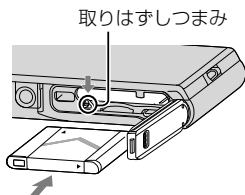
- ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使う。5.5mm以上の三脚ではしっかり固定できず､本機を傷つけることがあります。

* この商品にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

バッテリー充電と使用可能枚数・時間

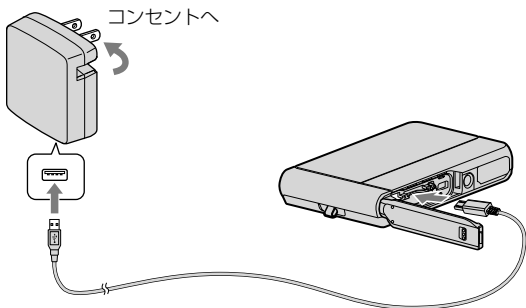
初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。
充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

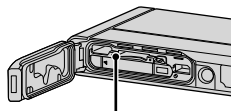
1 カバーを開ける。

2 バッテリーを入れる。

- バッテリーをバッテリー挿入口の中にあるイラストに合わせて、取りはずしつまみがロックするまで押し込みます。

3 カバーを閉じる。

カバーのつまみの、黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じる。

- カバー内に砂などの異物を挟み込むと、防水パッキンが傷つき浸水の原因になります（6ページ）。
- 正しく挿入しないままカバーを閉めると、破損のおそれがあります。

4 バッテリー /メモリーカードカバーを開けて、本機とACアダプター(付属)をマイクロUSBケーブル(付属)でつなぎ、ACアダプターをコンセントに取り付ける。

カメラの充電ランプがオレンジ色に点灯し、充電が始まる。

- 充電中は本機の電源を切った状態にしておいてください。
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- 充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。

充電ランプ
点灯：充電中
消灯：充電終了
点滅：充電エラー、または温度が適切な範囲にないための充電一時待機

ご注意

- ACアダプターをコンセントにつないでもカメラの充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電可能です。バッテリーの充電は周囲の温度が10℃～ 30℃の環境で行ってください。
- バッテリーの端子が汚れていると正しく充電できない場合があります。バッテリーの端子を乾いた布または綿棒などで拭いてください。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。

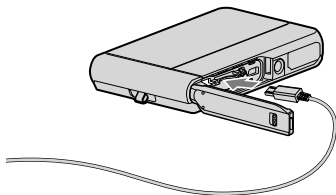
充電にかかる時間（満充電）

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約115分です。

ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。

←パソコンのUSB端子へ

ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
  - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間充電しないでください。
  - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
  - 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約125分	約250枚
実動画撮影	約30分	—
連続動画撮影	約60分	—
静止画再生	約180分	約3600枚

ご注意

- 撮影枚数は満充電された状態での目安の枚数です。使用方法で枚数は減少する場合があります。
- 撮影可能枚数は、以下の条件で撮影した場合です。
  - 当社製のmicroSD メモリーカード（Class4以上）（別売）を使用
  - 温度25℃の環境
  - ［表示画質モード］：［標準］
- 静止画撮影時の数値は、 CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。（CIPA：カメラ映像機器工業会、 Camera & Imaging Products Association）
  - ［パネル明るさ］：［3］
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする。
  - 2回に一度、フラッシュを発光する。
  - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値はCIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
  - 動画画質：AVCHD HQ
  - 実動画撮影：撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返した場合の目安。
  - 連続動画撮影：連続撮影の制限（29分）により撮影が終了したときは、再度MOVIE （動画）ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどのその他の操作はしない。

バッテリーの残量を確認する

モニター上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

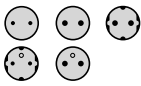
多 → なし

ご注意

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[強]のときに電源を入れたまま一定時間操作しないと、モニターが暗くなり、その後自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。
- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP ONを数秒間タッチして表示してください（26ページ）。

バッテリーの消費や使用可能時間については、75、79ページでも詳しく説明しています。

電力を供給する

マイクロUSBケーブル（付属）では、ACアダプターと接続してコンセントから電力の供給ができます。
マイクロUSBケーブルを使ってパソコンと接続すると、パソコンに画像を取り込むときでもバッテリーの消費を心配せずに使用できます。
また、撮影に対応したACアダプター AC-UD10（別売）またはAC-UD11（別売）を使用すると、撮影時も電力を供給できます。

ご注意

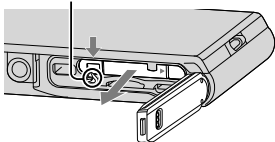
- バッテリーが本機に入っていないと給電ができません。
- 同梱のACアダプターおよびパソコンとの接続での撮影操作はできません。
- 再生中にマイクロUSBケーブルを使ってパソコン接続すると、再生画面からUSB接続画面に変わります。再生アイコンをタッチすると再生画面に変わります。

海外でも使えます

ACアダプター（付属）は全世界で使用できます（AC100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz）。ただし、地域によってはコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。

電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用できません。故障の原因になります。

コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

バッテリーを取り出す

取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないように注意する。

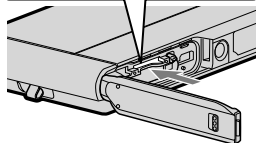
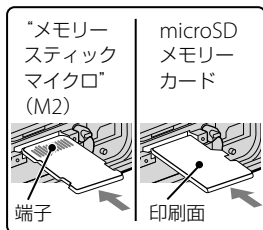
ご注意

- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

メモリーカード(別売)を入れる

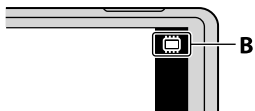
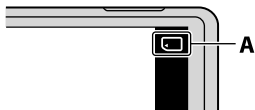
1　カバーを開ける(15ページ)。

2　メモリーカード(別売)を入れる。

- レンズを上にした場合、メモリーカードをイラストの向きにしてカチッというまでまっすぐ押し込みます。
- microSD メモリーカードをバッテリー側へ強く押し付けながら差し込むと、本機の故障の原因となることがあります。
- microSD メモリーカードを取り出すときに、microSD メモリーカードが飛び出す場合がありますので、ご注意ください。

メモリーカードの裏表に注意する

3　カバーを閉じる(15ページ)。

4 メモリーカードが正しく差し込まれているか確認する。

- (メモリーカード)のマーク(**A**)が表示されていることを確認してください。
- (内蔵メモリー)のマーク(**B**)が表示される場合は、メモリーカードを一度取り出し、向きを確認して、まっすぐ入れ直してください。
- メモリーカードを誤った向きで入れたり、斜めに入れたりすると、メモリーカードを使用できません。
- メモリーカードは1つしか挿入できません。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、以下の通りです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック マイクロ (M2)	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック マイクロ
microSD メモリーカード	○	○(Class 4以上)	microSD メモリーカード
microSDHC メモリーカード	○	○(Class 4以上)	
microSDXC メモリーカード	○	○(Class 4以上)	

- 本機は-10℃から+40℃の動作保証をしておりますが、メモリーカードの種類によっては、動作保証温度が異なる場合があります。詳しくはメモリーカードの取扱説明書をお読みください。

記録できる枚数/時間については、72 ～ 73ページをご覧ください。

ご注意

- microSDXC メモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とマイクロUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示がされる場合がありますが、決して実行しないでください。内容が全て失われます。
(exFATは、microSDXC メモリーカードで使用されているファイルシステムです。)

メモリーカードを取り出す

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、メモリーカード/バッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

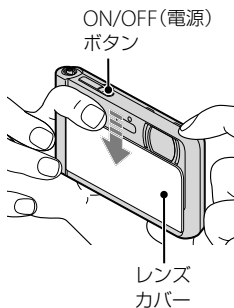
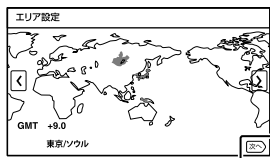
メモリーカードを入れていないときは

本体に内蔵されているメモリー(約48MB)に画像が記録されます。
内蔵メモリーの画像をメモリーカードにコピーする場合は、本機にメモリーカードを入れ、MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [コピー]を選びます。

日付と時刻を設定する

1 レンズカバーを下げる。

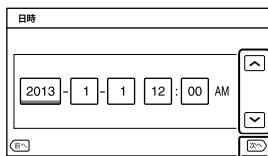
電源が入る。

- ON/OFF（電源）ボタンを押しても電源が入ります。
- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがあります。

2 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、[次へ]をタッチする。

3 サマータイムの[入]、[切]を選び、[次へ]をタッチする。

- 日本ではサマータイムを[切]にしてください。

4 希望の日付表示形式を選び、[次へ]をタッチする。

5 設定する項目を選び、⌃/⌄で数値を設定し、[次へ]をタッチする。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなります。

6 [OK]をタッチする。

7 モニターの指示に従って操作する。

- [表示画質モード]を[高画質]モードにするとバッテリーの消費が早くなります。

日付と時刻を合わせ直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENU → (設定) → (時計設定) → [日時設定]を選び、日時設定画面を開いてください(71ページ)。

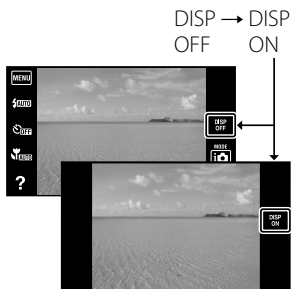
タッチパネルの基本的な使いかた

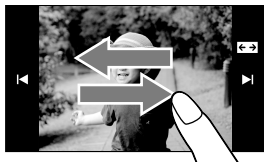
本機は指でモニターに触れて操作します。
モニター上に出ているボタンにタッチして機能を変更したり、タッチするだけでフォーカスをあわせることもできます（37ページ）。

ご注意

- モニターの状態によって、できる操作、使える機能は異なります。
- 先の尖ったペンなどではタッチしないでください。

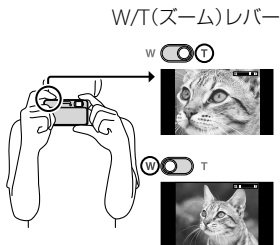
両端のボタンを消す/再表示するには

モニター右側の DISP OFF ボタンを数秒間タッチする。
左右のボタンが消え、DISP ON ボタンだけが残る。
再度表示させるには、DISP ON を数秒間タッチする。

再生時に画像を送るには

指で左右になぞると、前または 次の画像になります。

撮る(静止画)

1 レンズカバーを下げる(24ページ)。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

- W/T (ズーム)レバーを動かすと、ズーム/戻しができます。
- フラッシュ、レンズに指がかからないようにしてください。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約3 cm、T側約60 cm。

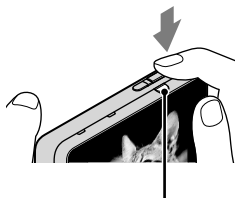
4 シャッターボタンを深く押し込む。

撮影直後に、撮影した画像が表示されます。シャッターボタンを半押しすると、画像の表示を解除できます。

撮る(動画)

1 レンズカバーを下げる(24ページ)。

2 MOVIE(動画)ボタンを押して、撮影を開始する。

• W/T(ズーム)レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻ります。

MOVIE(動画)ボタン

3 もう一度MOVIEボタンを押して、終了する。

ご注意

• 動画記録中にズームを操作すると、レバーの操作音が記録されます。また、動画撮影終了時、MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
• 連続撮影可能時間は約25℃で出荷時設定の場合、1回につき約29分です。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります(4ページ)。

動画記録方式を変更する

MENU → (設定) → (撮影設定) → [動画記録方式]を選ぶ(69ページ)。

動画を撮りながら静止画を撮る(デュアル記録)

動画撮影中にシャッターボタンを押すと、動画撮影を中断することなく静止画も撮影できます。
1回の動画撮影で10枚まで撮影可能です。

ご注意

- シャッターボタンの操作音が記録されることがあります。
- 静止画の画像サイズは MENU → [静止画サイズ(デュアル記録)]で選べます。
- スマイルシャッターが設定されているときは、笑顔を感知すると自動でシャッターが切れます。
- デュアル記録時のフラッシュ撮影はできません。

見る

1 ▶(再生)をタッチする。

- 他機で撮影したメモリーカードの画像を再生すると、管理ファイル登録画面が表示されます。

次の画像/前の画像を選ぶ

モニターの▶|(次)/|◀(前)をタッチする。

- 動画を再生するにはモニター中央の(▶)(再生)をタッチしてください(54ページ)。
- ズームするにはズームレバーをT側に動かしてください。

削除する

🗑(削除) → [この画像]の順にタッチする。

撮影に戻る

モニター右下の📷をタッチする。

- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻ります。

電源を切る

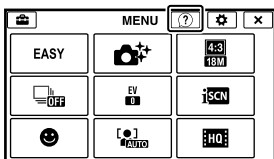
レンズカバーを閉じる。

- ON/OFF（電源)ボタンを押しても電源が切れます。

本機で使いかたを調べる(カメラ内ガイド)

本機はカメラ内に使いかたの情報を収録しているため、「知りたいこと」、「したいこと」をその場で探すことができます。
また、確認した後は、そのモードを実際に使ってみることもできます。

1 MENUをタッチする

2 ?(カメラ内ガイド)をタッチする。

3 説明を見たい項目をタッチする。

- 選んだ項目の説明が表示される。

4 画像をなぞりながら概要、操作方法、詳細を見る。

- MENUを表示していない状態で?(カメラ内ガイド)をタッチすると、キーワードやアイコンから検索することもできます。
- [カメラ内ガイド]を終了するときは、×をタッチします。

ご注意

- かんたんモード中は、?(カメラ内ガイド)は無効になります。

調べる

静止画の撮影モードを変える

状況や目的に合わせた撮影モードを選べます。

1 i（撮影モード） → 好みのモードの順にタッチする。

- 別の撮影モードにするには、もう一度撮影モードから好みのモードを選びます。

i（おまかせオート撮影）	自動設定で静止画を撮影できる。
i+（プレミアムおまかせオート）	おまかせオート撮影より高画質な画像を撮影できる。カメラまかせでシーンとコンディションを認識し、必要に応じて自動で連写して重ね合わせ処理を行う。 • 重ね合わせ処理には、若干の時間がかかります。記録される画像は1枚です。
（動画撮影）	動画撮影に関するモードの変更ができる。
P（プログラムオート撮影）	露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定する。メニューで多彩な機能を設定できる。
iSCN（パノラマ撮影シーン）	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。
（背景ぼかし）	背景をぼかして被写体を際立たせた画像を撮影できる。
（ピクチャーエフェクト）	好みの効果を選んで独自の風合いで撮影できる。
SCN（シーンセレクション）	あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できる。
3D（3D静止画）	3D対応テレビで立体的に見える画像を撮影できる。

ご注意

- 撮影モードによっては、水中で効果が得にくいことがあります。

自動で最適な設定で撮る(オート撮影)

撮影モードをi(おまかせオート撮影)、i+(プレミアムおまかせオート)、(動画撮影)にすると、カメラが自動でシーンを認識して最適な設定で撮影します。

- (動画撮影)の場合は、MENU → i(動画撮影シーン) → i(おまかせオート撮影)を選択してください。

1 i(撮影モード) → i(おまかせオート撮影)をタッチする。

2 被写体にカメラを向ける。

認識されたシーンのマークとガイドがモニターに表示される。

上段：(人物)、(赤ちゃん)、(夜景&人物)、(夜景)、(逆光&人物)、(逆光)、(風景)、(マクロ)、(拡大鏡)、(スポットライト)、(低照度)、(水中)

下段：(三脚)、(動き)、(動き(明るい))、(動き(暗い))

シーン認識マークとガイド
(ガイドは上段のみ)

- (動き(明るい))と(動き(暗い))は、プレミアムおまかせオート設定時のみ認識します。
- (水中)は、おまかせオート設定時のみ認識します。

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてからシャッターボタンを深く押し込んで撮影する。

オート撮影の特徴

プレミアムおまかせオートは、おまかせオート撮影よりもさらに高画質で撮影し、必要に応じて重ね合わせ処理を行います。
プログラムオート撮影は、ホワイトバランスやISOなど多彩な機能の設定を変えて撮るときに使います。

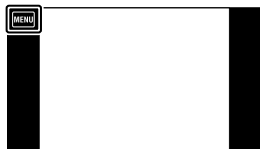
撮影モード	こんなときに使う	制限される主な機能
i📷（おまかせオート撮影）	• カメラまかせでシーン認識をして、何枚も続けて撮影したいとき	フラッシュの強制発光
i📷+（プレミアムおまかせオート）	• 暗いシーンや逆光などの失敗しやすいシーンをきれいに撮影したいとき • i📷（おまかせオート撮影）よりも高画質な画像を撮影したいとき	連写、スマイルシャッター、フラッシュの強制発光
P（プログラムオート撮影）	• 露出（シャッタースピードと絞り）以外の多彩な撮影機能を自分で調整して撮影したいとき	おまかせシーン認識

ご注意

- [おまかせオート撮影]では、暗いシーンや逆光のシーンなどを美しく撮影できないことがあります。
- [プレミアムおまかせオート]では、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。□+（重ね合わせアイコン）が表示され、シャッター音が複数回聞こえる場合があります。記録される画像は1枚です。

より大きくズームする

[全画素超解像ズーム]を[入]に設定すると、光学ズームを超えても、ほとんど劣化しない静止画を撮影できます。

1 **MENU → (設定) → (撮影設定) → [全画素超解像ズーム] → [入]をタッチする。**

 最大倍率までズームするには

本機は光学5倍までズームします。

最大画像サイズ以外に設定した場合は、画質が劣化しない範囲で光学倍率を超えてズームします。

さらに、MENU → (設定) → (撮影設定) → [デジタルズーム] → [入]に設定すると、最大76倍までズームできます(VGA時)。ただしズーム倍率によって画質が劣化します。

- [拡大鏡プラス]時は、ズーム倍率が異なります(36ページ)。

撮影に便利な機能を使う

被写体に近づいて拡大して撮る

本機は自動でマクロ撮影になります。[拡大鏡プラス]にするとさらに近づいて撮影できます。また、LEDライトで被写体を明るく撮影することができます。

1 (マクロ) → 好みのモードを タッチする。

(オート)：被写体に3cmまで近づいて撮影できる。

(拡大鏡プラス)：被写体に1cmまで近づいて撮影でき、LEDライトを点灯することができる。中央部が2倍に拡大される。

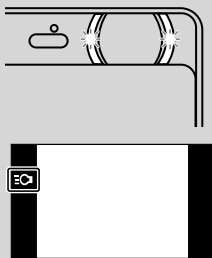
[拡大鏡プラス]設定時

	最大撮影倍率*1	ズーム倍率*2
出荷時設定での最大倍率*3	6.7	4.6
デジタルズーム[入]時の最大倍率*3	15	10

*1 最短撮影距離1cmでの撮影倍率(35mm換算)

*2 W側からの拡大倍率

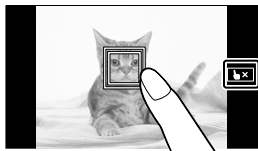
*3 画像サイズ[18M]時

LEDライトを使って明るく撮影する

- LEDライトを点灯させることにより、被写体を明るく写したり 被写体に影が映るのを防ぐことができます。
- 点灯したLEDライトを直視し続けないでください。目に悪影響を及ぼす可能性があります。
- LEDライトは[拡大鏡プラス]時のみ点灯できます。
  LEDライトを消したいときは、(LEDライト) → (切)をタッチします。

被写体にピントを合わせ続けて撮る（追尾フォーカス）

被写体が動いても、自動でピントを合わせ続けます。

1 被写体に本機を向け、ピントを合わせたいところをタッチする。

- 半押ししてピントを合わせる前なら、何度でもやり直しできます。
- ピント合わせを解除したいときは、をタッチします。

ご注意

- 水中では使用できません。

優先したい顔を登録する（選択顔記憶）

顔検出中に追尾フォーカスを行うと、優先したい顔を自分で選んで登録できます。顔を追尾しているときは、被写体がモニターから消えても、登録した顔が再びモニターに映った場合には登録した顔でピント合わせをします。

① 顔検出中に、登録したい顔をタッチする。
選択された顔が優先顔として登録され、二重枠表示に変わる。

② 顔をタッチするたびに、登録が更新される。

③ 登録を解除したい場合は をタッチする。

撮影に便利な機能を使う

パノラマ画像を撮る(顔・動き検出対応)

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。パノラマ画像はソフトウェア「PlayMemories Home」でも再生できます。

1 (撮影モード) → (パノラマ撮影シーン) → 好みのモードをタッチする。

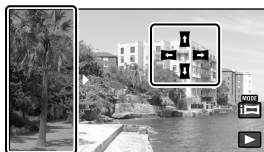
(スイングパノラマ): パノラマ画像を撮影する。

(水中スイングパノラマ): 水中でパノラマ画像を撮影する。

(ピクチャーエフェクト): 独自の風合いが出る効果を追加したパノラマ画像を撮影する。

2 明るさ、ピントを合わせたい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押しする。

撮影されない部分

- ///のアイコンをタッチすると、撮影する方向を変更できます。
- [パノラマ画像サイズ]を[高解像]に設定しているときは本機を縦に構えて、/から選びます。

3 シャッターボタンを半押しした状態で構図の端にカメラを向け、シャッターボタンを深く押し込む。

4 モニター上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。

ガイド

ご注意

- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

 パノラマ撮影のポイント

脇をしめてできるだけカメラを体に寄せ、体を軸に、一定の速度で小さな円を描くように、モニターの矢印方向と並行に動かしてください。（半周5 ～ 6秒が目安です）。

撮影の前にあらかじめ何度が練習しておくことをおすすめします。

- 被写体と背景との距離を充分にたもったり、屋外などの明るい場所で撮ることもポイントです。

 周囲360度の範囲を撮影するには

（パノラマ画像サイズ）を［360度］に設定し、スイングパノラマ撮影します。撮影した画像は本機上でスクロール再生できます。

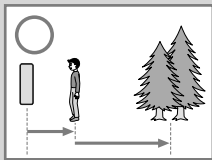
- / のアイコンをタッチして撮影方向を選べます。［360度］のスイングパノラマ撮影時では、上下方向は選べません。
- 被写体や撮り方によっては撮影画角が360度より狭くなる場合があります。

3D静止画を撮る

3D対応テレビで3D表示できる画像を撮影します。

1 i📷(撮影モード) → 3D (3D静止画)をタッチする。

2 シャッターボタンを押す。

3D静止画で撮影するときのポイント

イラストのように被写体に近づき、被写体と背景の距離は大きくとってください。
暗すぎるシーンや動きのある被写体を撮影した場合、またAE/AFロック後にカメラを動かした場合は、3D効果がはっきり出ない場合があります。
また、暗い場所で撮影した場合、ノイズが強調されることがあります。

ご注意

- 画像サイズは[18M]または[16:9(13M)]しか選べません。

被写体の背景をぼかして撮る(背景ぼかし)

画像処理によって背景をぼかして被写体を際立たせた画像を撮影できます。

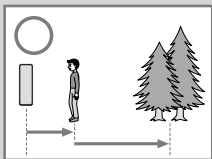
1 i📷(撮影モード) → (背景ぼかし)をタッチする。

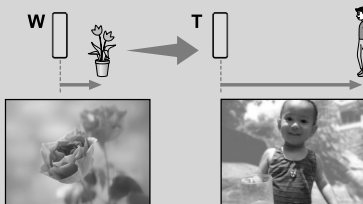
- 撮影前にモニター左の[ぼかし効果]をタッチして背景のぼかし効果を変更できます。

2 シャッターボタンを押す。

背景ぼかし撮影のポイント

撮影モードを[背景ぼかし]にすると、画像処理によって背景をぼかして被写体を際立たせた画像を撮影できます。以下のポイントを参考にして、うまく背景をぼかしましょう。

被写体と背景の位置

イラストのように被写体と背景の間の距離を大きくとると、背景をぼかして撮影できます。被写体と本機の距離を、モニターに表示される推奨距離内におさめてください。

ズーム倍率と被写体の位置

花や小物などに近づいて撮影するときは、W/T(ズーム)レバーをW側にしましょう。人物を撮影するときは、被写体から少し離れてレバーをT側にしましょう。

- 動く被写体を撮影すると、うまく背景がぼけないことがあります。

連続して撮る（連写設定）

シャッターボタンを押し続けている間、最大10枚連写します。

1 **MENU → ［連写設定］ → 好みのモードをタッチする。**

［切］：1枚撮影する。

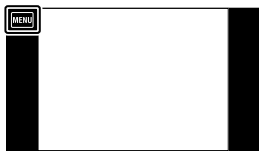
［高］：最高約10コマ/秒の速さで連写する。

［低］：最高約2コマ/秒の速さで連写する。

用途に合わせて画像のサイズ/画質を選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、高いほど画質が向上します。

1 MENU → **好みの画像サイズや画質をタッチする。**

- 撮影モードによっては、モニター左側に表示されるボタンから設定します。
- 選択できる画像サイズや画質は、カメラの設定によって変わります。

静止画サイズ（横×縦）	用途例	本機の表示
4:3 18M (4896 × 3672)	A3ノビサイズまでの印刷	縦横比4:3で表示
4:3 10M (3648 × 2736)	A3サイズまでの印刷	
4:3 5M (2592 × 1944)	L/2L/A4サイズまでの印刷	
4:3 VGA (640 × 480)	Eメールに添付	
16:9 13M (4896 × 2752)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA3ノビサイズまでの印刷	モニターいっぱいに表示
16:9 2M (1920 × 1080)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞	

パノラマ画像サイズ	説明
STD 標準	標準サイズで撮影
WIDE ワイド	長いサイズで撮影
360 360度	周囲360度のサイズで撮影
HR 高解像	43Mピクセルで高解像パノラマを撮影

動画画質	平均ビットレート	画質
FX AVC HD 24M (FX)	24Mbps	最高画質
FH AVC HD 17M (FH)	17Mbps	↕
HQ AVC HD 9M (HQ)	9Mbps	標準

動画サイズ	平均ビットレート	画サイズ
1080 MP4 12M	12Mbps	大
720 MP4 6M	6Mbps	↕
VGA MP4 3M	3Mbps	小

ご注意

- スイングパノラマで撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることがあります。
- [AVC HD 24M (FX)]で撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください(61ページ)。

フラッシュモードを選ぶ

1 **（フラッシュ）→ 好みのモードをタッチする。**

（アドバンスフラッシュ）： 暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。暗い場所では感度を上げて、より遠くまで明るく撮影する。

（オート）： 暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。

（強制発光）： 必ず発光する。

（スローシンクロ）： 必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

（発光禁止）： 発光しない。

使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

下の表で○は変更可能、×は変更不可能を表しています。

撮影モード ＼ フラッシュモード		AUTO	強制発光	SL	発光禁止	Adv.
おまかせオート撮影		○	×	×	○	○
プレミアムおまかせオート		○	×	×	○	○
プログラムオート撮影		○	○	○	○	×
スイングパノラマ*		×	×	×	○	×
背景ぼかし*		×	×	×	○	×
ピクチャーエフェクト		×	○	×	○	×
シーンセレクション	(ソフトスナップ)	○	○	○	○	×
	(ポートレート)	○	○	○	○	×
	(手持ち夜景)* (夜景)* (人物ブレ軽減)* ISO* (花火)*	×	×	×	○	×
	(風景) (逆光補正HDR)+ (料理) (ペット) (ビーチ) (スノー) (水中) (スポーツ)	×	○	×	○	×
	(夜景&人物)	×	×	○	×	×
3D静止画*		×	×	×	○	×
連写設定*		×	×	×	○	×

* これらのモードではフラッシュ撮影はできません。

ご注意

- [拡大鏡プラス]時は、フラッシュ撮影はできません(36ページ)。

セルフタイマー/自分撮り機能を使う

1 （セルフタイマー） → 好みのモードをタッチする。

（切）：セルフタイマーを使わない。

（10秒）：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。

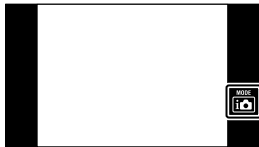
シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。解除するには×をタッチする。

（2秒）：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

（自分撮り1人）/（自分撮り2人）：カメラが人物の顔を検出して自動撮影。自分にカメラを向けて撮影するときに使う。
設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影する。

場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

1 **i（撮影モード）→ SCN（シーンセレクション）→ 好みのモードをタッチする。**

- ほかのシーンにしたいときは、撮影モードをタッチして選び直します。

（美肌）*：人物の肌をなめらかに補正する。

（ソフトスナップ）：人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。

（人物ブレ軽減）*：室内で人物撮影をする場合、フラッシュを使わずにブレを軽減する。

（風景）：遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。

（逆光補正HDR）*：露出の異なる3枚の画像を撮影し、階調豊かな1枚の画像に合成する。

（夜景＆人物）*：夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせる。

（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。

（手持ち夜景）*：三脚を使わなくてもノイズの少ないきれいな夜景を撮影する。

ISO（高感度）：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減する。動画撮影時は暗いシーンを明るく撮影する。

（料理）*：料理を明るく美味しそうに撮影する。

（ペット）*：ペットを最適な設定で撮影する。

（ビーチ）：太陽の光の下でも、明るく鮮やかに撮影する。

（スノー）：雪景色などの画面全体が白くなるような場所で、画面が沈みがちになるのを防ぐ。

（打ち上げ花火）：打ち上げ花火をきれいに撮影する。

(水中)：水中をきれいに撮影する。

(高速シャッター) *：屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影する。

* [動画撮影シーン]の[シーンセレクション]では選べません。

独自の風合いが出る効果を使う（ピクチャーエフェクト）

1 i(撮影モード) → (ピクチャーエフェクト) → 好みのモードをタッチする。

- ほかの効果を使いたいときは、撮影モードをタッチして選び直します。
- パノラマ撮影でピクチャーエフェクトを使いたいときは、i(撮影モード) →i(パノラマ撮影シーン) → (ピクチャーエフェクト)を選びます(38ページ)。

Pntg(絵画調HDR)：露出の異なる複数枚の画像を撮影し、油絵具で描いたような1枚の画像に合成する。効果の強さは[絵画効果]で変更する。

Rich BW(リッチトーンモノクロ)：露出の異なる複数枚の画像を撮影し、メリハリの効いた1枚のモノクロ画像に合成する。

Mini(ミニチュア)：(注目領域)で指定した部分以外をぼかし、ジオラマを撮影したようなコントラストの強い画像を撮影する。

Toy(トイカメラ) *：トンネル効果・高コントラスト・色かぶりなど、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影する。色調は[色調]で変更する。

Pop(ポップカラー) **:色味を強調してポップでカラフルな画像を撮影する。

Part(パートカラー) **:モノクロ画像の一部に指定する色を残すことで、印象に残る画像を撮影する。指定する色は[抽出色]で変更する。

(ソフトハイキー） **:明るさを強調した柔らかく透明感のある画像を撮影する。

(水彩画調）：にじみやぼかしを加えて水彩画のような効果をつける。

(イラスト調）：輪郭を強調するなどしてイラストのような効果をつける。効果の強さは[イラスト効果]で変更する。

- *および**は、動画撮影、デュアル記録でも撮影できます。
- **はパノラマ撮影でも撮影できます。

撮影した画像を水彩画、イラスト調に加工する

(再生) → MENU → [ピクチャーエフェクト]で、撮影した画像を水彩画、またはイラストのように加工できます。

マイフォトスタイルで設定を変更する

マイフォトスタイルは、通常の画面とは異なるデザインで直感的にカメラを操作できるモードです。撮影モードがi(おまかせオート撮影）とi+(プレミアムおまかせオート)のときに、かんたんな操作で設定を変更して撮影できます。

1 **i(撮影モード) → i(おまかせオート撮影)をタッチする。**

2 MENU → (マイフォトスタイル)をタッチする。

3 モニター上で変更したい項目をタッチする。

(明るさ)：明るさを調整する。
(色合い)：色合いを調整する。
(鮮やかさ)：鮮やかさを調整する。
(ピクチャーエフェクト)：好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。

4 モニター上の目盛りや項目をタッチして希望の設定にする。

- 手順3、4を繰り返して色々な設定を組み合わせることができます。

5 静止画の場合：シャッターボタンを押して撮影する。動画の場合：MOVIEボタンを押して撮影を開始する。

ご注意

- マイフォトスタイルで動画を撮影する場合、記録中に設定を変更できません。
- [おまかせオート撮影]に戻ったり、電源を切ると、各設定は初期設定に戻ります。
- プレミアムおまかせオート撮影時は、重ね合わせ技術を使えません。

モニターいっぱいに画像を表示する（ワイドズーム）

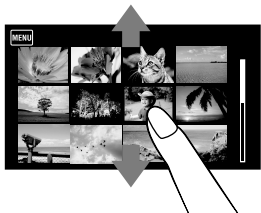
1 ▶（再生）をタッチして画像を再生し、← →（ワイドズーム）をタッチする。

- 終了するには、再び← →をタッチします。

素早く探す（一覧表示）

1 ▶（再生）をタッチして画像を再生し、▦（一覧表示）をタッチする。またはW/T（ズーム）レバーをW側に動かす。

2 モニターを上下になぞり、ページを送る。

- MENU → [一覧表示枚数] で表示枚数を12枚か28枚に設定できます。
- 一覧表示画面で画像をタッチすると、1枚再生に戻ります。

一覧表示画面で動画のみ表示する

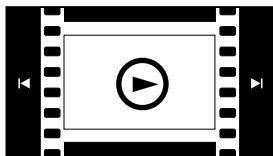
MENU → （ビューモード） → （フォルダビュー（MP4））または（AVCHDビュー）で、動画だけの一覧表示画面を表示することができます。

MP4（フォルダビュー（MP4））	MP4形式の動画を表示する。
AVCHD（AVCHDビュー）	AVCHD形式の動画を表示する。

- 再生した動画が終わると自動的に次の動画が始まります。

動画を見る

1 ▶(再生)をタッチして動画を再生し、モニター中央の▶(再生)をタッチする。

• 再生中、モニターをタッチすると、操作ボタンが表示されます。

ボタン	できること
▶	再生
❚❚	一時停止
▶▶	早送り
◀◀	早戻し
❚▶	スロー再生
◀❚	スロー逆再生
▶▶❚	チャプタ送り
❚◀◀	チャプタ戻し
❚❚▶	コマ送り
◀❚❚	コマ戻し
🔈	音量調節
×	操作パネルを閉じる

ご注意

• 操作パネルに表示されるボタンは、再生状態によって変わります。

顔に美容効果をかける(ビューティーエフェクト)

ビューティーエフェクトは、静止画で撮影した人物の顔に様々な美容効果をかける機能です。

1 **(再生)をタッチして画像を再生し、(ビューティーエフェクト)をタッチする。**

2 **美容効果をかける顔をタッチする。**

3 **好みの美容効果をタッチし、好みの設定をタッチする。**

(肌の色調整):肌の色を調整する。

(なめらか肌):肌のしみやしわを見えなくなるよう調整する。

(テカリ除去):肌のてかりを押さえる。

(デカ目):人物の目を大きくする。

(歯のホワイトニング):人物の歯を白く補正する。

- 同時に複数の顔に美容効果をかけることはできません。複数の顔に美容効果をかける場合は、一度美容効果をかけた画像を再度選び、別の顔を選んで美容効果をかけてください。

ご注意

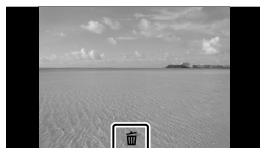
- 画像によっては美容効果がうまく反映されない場合があります。
- 顔検出されていない顔には美容効果をかけられません。

その他の再生機能を使う

本機にはこの他にも多くの再生機能を搭載しています。
テレビでの再生方法、撮った画像のプリント方法、連続再生（スライドショー）などの詳細は、サイバーショットユーザーガイドやカメラ内ガイドで確認できます。

- サイバーショットユーザーガイド（74ページ）
  http://www.sony.jp/support/manual_dsc.html
- カメラ内ガイド（31ページ）

削除する

1 ▶(再生)をタッチして画像を再生し、(削除) → 好みのモードをタッチする。

(この画像以外全て)：連写グループ表示時、選択している画像以外を削除する。

(この連写画像全て)：選択している連写グループ内すべての画像を、まとめて削除する。

(この画像)：1枚表示のとき、見ている画像を削除する。

(画像選択)：画像を何枚か選んで削除する。画像をタッチして選び、[OK] → [OK]をタッチする。

(この日の画像全て)/(フォルダ内全て)/(AVCHD ビュー 動画全て)：選択している日付・フォルダ内すべての静止画と動画、またはAVCHD動画だけをまとめて削除する。

ご注意

- 内蔵メモリー内の画像を削除するにはメモリーカードを抜いてください。

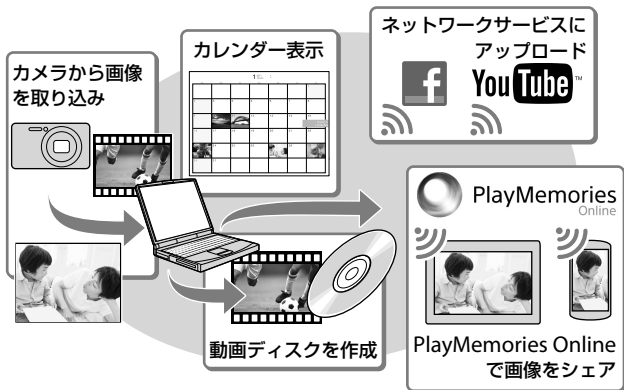
 すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカード(別売)が本機に入っている場合はメモリーカードのデータを、入っていない場合は内蔵メモリーのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

MENU → (設定) → (メモリーカードツール)または(内蔵メモリーツール) → [フォーマット] → [OK]をタッチする。

パソコンで見る

ソフトウェア「PlayMemories Home」を使うと、撮影した静止画や動画をパソコンに取り込んで画像の活用ができます。AVCHD動画をパソコンに取り込む場合は「PlayMemories Home」が必要です。

ソフトウェア「PlayMemories Home」でできること

「PlayMemories Home」をダウンロードする(Windows)

「PlayMemories Home」は、以下のURLよりダウンロードできます。

www.sony.net/pm

ご注意

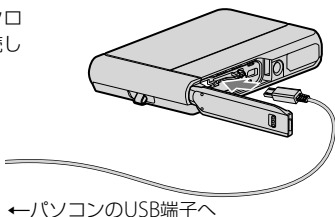
- 「PlayMemories Home」のインストールにはインターネット接続が必要です。
- 「PlayMemories Online」、各ネットワークサービスはインターネット接続が必要です。また、国または地域によっては対応していません。
- 「PlayMemories Home」はMacに対応していません。Mac用アプリケーションをご利用ください。詳しくは以下のURLをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/

パソコンに「PlayMemories Home」をインストールする

1 **パソコンのインターネットブラウザで以下のダウンロードサイトにアクセスして、[インストール] → [実行]をクリックする。**

www.sony.net/pm

2 **画面の指示に従ってインストールを進める。**

- カメラをパソコンに接続する指示が表示されたらマイクロUSBケーブル(付属)で接続してください。

「PlayMemories Home ヘルプガイド」を見る

「PlayMemories Home」の操作について詳しくは、
「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

1 **デスクトップ上の[PlayMemories Home ヘルプガイド]アイコンをダブルクリックする。**

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PlayMemories Home] → [PlayMemories Home ヘルプガイド]の順にクリックします。
- Windows8の場合は、スタート画面から[PlayMemories Home]アイコンを選択して「PlayMemories Home」を起動し、[ヘルプ]メニューから[PlayMemories Home ヘルプガイド]を選択する。
- 「サイバーショットユーザーガイド」(74ページ)、PlayMemories Homeサポートページ(http://www.sony.co.jp/pmh-sj/)でも詳しい操作方法をご確認いただけます。

「PlayMemories Home」で画像をパソコンに取り込む

1 本機とパソコンをマイクロUSBケーブル(付属)で接続する。

画像の取り込み画面が表示される。

- 通信中は本機のモニターに が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。

2 保存先のドライブとフォルダ、取り込み方法を選んで、[取り込み開始]をクリックする。

画像の取り込みが完了すると、「PlayMemories Home」のメイン画面が表示される。

ご注意

- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマイクロUSBケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイの切断アイコン( )をクリックし、[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックしてください。
- Windows XPでパソコンにインストールされているWindows Media PlayerがVer.10の場合は、カメラをパソコンに接続しても認識されない場合があります。このような場合はケーブルを抜いて、MENU → (設定) → (本体設定) → [USB接続設定] → [Mass Storage]にしてから、接続し直してください。

動画のディスクを作成する

本機で記録したAVCHD動画からディスクを作成することができます。ディスクの種類によって再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。作成方法は、「PlayMemories Home」を使ってパソコンで作成する方法と、レコーダーなどのパソコン以外の機器を使って作成する方法を紹介します。

ディスクの種類/目的	録画できる動画画質			再生機器
	FX	FH	HQ	
Blu-ray ハイビジョン画質（HD）で残したい	○	○	○	ブルーレイディスク再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など）
DVD ハイビジョン画質（HD）（AVCHD記録ディスク）で残したい	×*	○	○	AVCHD規格対応再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など）
DVD 標準画質（STD）で記録して残したい	×*	×*	×*	一般的なDVD再生機器（DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）

* 「PlayMemories Home」でのディスク作成時に、画質を落とした変換をすれば記録できます。

つないで楽しむ

パソコンでディスクを作成する

「PlayMemories Home」を使ってAVCHD動画をパソコンに取り込み、ブルーレイディスク、AVCHD記録ディスク、または標準画質（STD）のディスクを作成することができます。
「PlayMemories Home」を使ったディスクの作り方についての詳細は「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

ご注意

- ブルーレイディスクを「PlayMemories Home」で作成するには専用のアドオンソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、以下のURLをご覧ください。
  http://support.d-imaging.sony.co.jp/BDUJ/

パソコン以外の機器でディスクを作成する

ブルーレイレコーダーなどでもディスクを作成することができます。
機器によって作成できるディスクの種類が異なります。

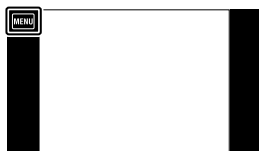
使用する機器	作成できるディスクの種類
ブルーレイレコーダーを使ってブルーレイディスクや標準画質（STD）のディスクを作成する。	Blu-ray ハイビジョン画質（HD） DVD 標準画質（STD）
HDDレコーダーなどを使って標準画質（STD）のディスクを作成する。	DVD 標準画質（STD）

ご注意

- 作成方法の詳細は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

操作音を変える

操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

1 **MENU → (設定) → (本体設定) → [操作音] → 好みのモードをタッチする。**

シャッター：シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

入：タッチパネルを操作したときや、シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。

切：音は鳴らない。

画像に撮影日付を入れる

撮影した日付を画像に挿入するように設定できます。

1 **MENU → (設定) → (撮影設定) → [日付書き込み] → 好みのモードをタッチする。**

- 撮影モードにして設定してください。

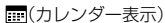
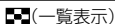
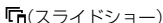
入：日付を挿入する。

切：日付を挿入しない。

ご注意

- 画像に入れた日付表示は消せません。
- 印刷時に日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。

MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。
本機のモニターには、設定できる項目のみが表示されます。MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面には表示されません。
お買い上げ時の状態に戻すには、MENUをタッチして（設定）→（本体設定）→［設定リセット］で戻せます。

撮影時のMENU

項目	説明
動画撮影シーン	動画の撮影モードの設定を変更する。 （おまかせオート撮影/ SCN シーンセレクション）
マイフォトスタイル	おまかせオート撮影、またはプレミアムおまかせオート時に、設定を変更して撮影する。 （明るさ/色合い/鮮やかさ/ピクチャーエフェクト）
かんたんモード	必要最低限の機能を使って静止画を撮影する。 • 静止画サイズ（大/小） • セルフタイマー（入/切） • フラッシュ（オート/切）
フラッシュ	フラッシュを設定する。 （アドバンスフラッシュ/ オート/ 強制発光/ スローシンクロ/ 発光禁止）
LEDライト	拡大鏡プラス時のLEDライトを設定する。 （入/切）

項目	説明
セルフタイマー	セルフタイマーを設定する。 （切/10秒/2秒/自分撮り1人/自分撮り2人）
ぼかし効果	背景ぼかし撮影時、背景のぼかし効果を設定する。 （低/中/高）
静止画サイズ(デュアル記録)	動画記録中に撮影する画像サイズを設定する。 （16:9 13M 16:9(13M相当)/16:9 3M 16:9(3M)/ 4:3 10M 10M相当/4:3 2M 2M）
静止画サイズ/ パノラマ画像サイズ/ 動画画質/動画サイズ	画像サイズまたは画質を設定する。 （4:3 18M/4:3 10M/4:3 5M/4:3 VGA/16:9 13M/16:9 2M） （STD 標準/WIDE ワイド/360 360度/HR 高解像） （FX AVC HD 24M (FX)/FH AVC HD 17M (FH)/ HQ AVC HD 9M (HQ)） （1080 MP4 12M/720 MP4 6M/VGA MP4 3M）
連写設定	連写を設定する。 （切/高/低）
マクロ	小さいものを近くできれいに撮影する。 （AUTO オート/拡大鏡プラス）
絵画効果	[絵画調HDR]撮影時、効果の強さを設定する。 （Pntg Lo 低/Pntg Mid 中/Pntg Hi 高）
注目領域	[ミニチュア]撮影時、はっきり見せたい場所を設定する。 （上/中(横)/下/左/中(縦)/右）
色調	[トイカメラ]撮影時、色調を調整する。 （Toy Norm ノーマル/Toy Cool クール/Toy Warm ウォーム/ Toy G グリーン/Toy M マゼンタ）
抽出色	[パートカラー]撮影時、抽出したい色を設定する。 （Part R レッド/Part G グリーン/Part B ブルー/ Part Y イエロー）
イラスト効果	[イラスト調]撮影時、効果の強さを設定する。 （Ilus Lo 低/Ilus Mid 中/Ilus Hi 高）

カメラの設定を変える

項目	説明
明るさ(EV補正)	露出を手動調整する。 (-2.0EV ～ +2.0EV)
ISO	ISO感度を設定する。 (ISO AUTO/ISO 80 ～ ISO 12800)
色合い(ホワイトバランス)	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 (オート/ 太陽光/ 曇天/ 蛍光灯1/ 蛍光灯2/ 蛍光灯3/ 電球/ フラッシュ/ ワンプッシュ)
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。 (マルチAF/ 中央重点AF/ スポットAF)
測光モード	モニターのどの部分で光を測るか(測光)を設定する。 (マルチ/ 中央重点/ スポット)
おまかせシーン認識	カメラがシーンを判断して撮影する。 (オート/ アドバンス)
美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 (切/ 低/ 中/ 高)
スマイルシャッター	笑顔を検出すると自動で撮影する。
スマイル検出感度	笑顔を検出する感度を設定する。 (大笑い/ 普通の笑顔/ ほほ笑み)
顔検出	人物の顔を検出し、ピントを合わせる優先対象を設定する。 (切/ オート/ こども優先/ おとな優先)
目つぶり軽減	目つぶり軽減機能を設定する。 (オート/ 切)
動画手ブレ補正	動画撮影時、手ブレを補正する。 (スタンダード/ アクティブ) • [動画手ブレ補正]の設定を変更すると、画角が変わります。
カメラ内ガイド	カメラの機能や使いかたを検索する。
(設定)	本機の設定を変更する。

再生時のMENU

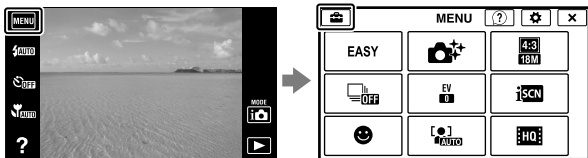
項目	説明
EASY（かんたんモード）	文字を大きく表示して使いやすくする。
（日付選択）	画像を日付から選択する。
（カレンダー表示）	カレンダー画面から再生する日付を選ぶ。
（一覧表示）	同時に複数の画像を表示させる。
（スライドショー）	画像を連続再生する。 （連続再生/音楽付スライドショー）
（削除）	画像を削除する。 （この画像以外全て/この連写画像全て/この画像/画像選択/この日の画像全て*）
（ペイント）	静止画へ描き込みして別ファイルとして保存する。
（ビューティーエフェクト）	画像の人物の顔を選んでレタッチし、別ファイルで保存する。 （肌の色調整/なめらか肌/テカリ除去/デカ目/歯のホワイトニング）
（加工）	画像を加工して別ファイルで保存する。 （トリミング（リサイズ）/ピントくっきり補正）
（ピクチャーエフェクト）	画像に効果をつけ、別ファイルで保存する。 （WtrC 水彩画調/Ilus イラスト調）
（3D鑑賞）	3D撮影した画像を3D対応テレビで見る。
（ビューモード）	ビューモードの切り換えを行う。 （日付ビュー/フォルダビュー（静止画）/MP4 フォルダビュー（MP4）/AVCHD AVCHDビュー）
（連写グループ表示）	連写画像の表示のしかたを選択する。 （グループ代表画像のみ表示/全て表示）
（プロテクト）	画像を誤って消さないように保護（プロテクト）する。 （この画像/画像選択/ON この連写画像全て設定/OFF この連写画像全て解除/ON この日の画像全て設定*/OFF この日の画像全て解除*）

項目	説明
DPOF （プリント(DPOF)）	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 （DPOF この画像/DPOF 画像選択）
(回転)	静止画を左に回転する。
(音量)	音量を調節する。
(画像情報)	モニターに表示している画像ファイルの撮影情報（Exif情報）を表示するかどうか設定する。 （ 入/ 切）
(一覧表示枚数)	一覧表示時、画像を表示する枚数を設定する。 （ 12枚/ 28枚）
?(カメラ内ガイド)	カメラの機能や使いかたを検索する。
(設定)	撮影機能以外の、本機の設定を変更する。

* 各ビューモードによって、表示される項目が異なります。

(設定)にある機能を使う

本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

(撮影設定)は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。

カテゴリー	項目	説明
撮影設定	動画記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。
	AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。
	グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。
	全画素超解像ズーム	静止画撮影時、ほとんど劣化せずにズームする。
	デジタルズーム	全画素超解像ズーム以上のズームができる。動画撮影時でもズームできる。
	風音低減	動画撮影時、風音を低減する。
	シーン認識ガイド	シーン認識マークの横に表示されるガイドを表示する。
	赤目軽減	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。
	目つぶり通知	目を閉じている画像を記録すると、メッセージを表示する。
	日付書き込み	撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。
	表示画質モード	モニターに表示される画像の画質を調節する。

カテゴリー	項目	説明
本体設定	操作音	本機の操作時に鳴る音を設定する。
	パネル明るさ	モニターの明るさを設定する。
	言語設定	本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。
	画面カラー	モニターの背景色を設定する。
	デモモード	スマイルシャッターやAVCHD動画再生のデモンストレーションをする。
	設定リセット	お買い上げ時の設定に戻す。
	HDMI機器制御	ブラビアリンク対応のテレビと接続した場合、テレビのリモコンで操作するかどうか設定する。
	USB接続設定	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。
	USB給電	USB接続して給電するかどうか設定する。
	LUN設定	USB接続したときに、パソコンなどに表示される記録メディアを設定する。
	BGMダウンロード	スライドショー用の音楽を変更する。
	BGMデータ消去	スライドショー用の音楽をすべて消去する。
	パワーセーブ	オートパワーオフまでの時間を設定する。
	バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。

カテゴリー	項目	説明
メモリーカードツール	フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
	記録フォルダ作成	メモリーカードの中に新しいフォルダを作成する。
	記録フォルダ変更	画像を記録するフォルダを変更する。
	記録フォルダ削除	メモリーカードの中のフォルダを削除する。
	コピー	内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーする。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
内蔵メモリーツール	フォーマット	内蔵メモリーをフォーマット(初期化)する。
時計設定	エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
	日時設定	時計、日付の設定をする。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

（単位：枚）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	約48MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
18M	7	295	590	1200	2400	4800	9600
10M	9	385	780	1550	3150	6300	12500
5M	16	670	1300	2700	5400	10500	21000
VGA	155	6400	12500	25500	40000	40000	40000
16:9(13M)	8	325	660	1300	2650	5300	10500
16:9(2M)	29	1150	2350	4750	9500	19000	36000

ご注意

- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。

画質/サイズ ＼ 容量	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
AVC HD 24M (FX)	10分（10分）	20分（20分）	40分（40分）	1時間30分（1時間30分）	3時間（3時間）	6時間（6時間）
AVC HD 17M (FH)	10分（10分）	25分（25分）	1時間（1時間）	2時間（2時間）	4時間5分（4時間5分）	8時間15分（8時間15分）
AVC HD 9M (HQ)	25分（15分）	50分（35分）	1時間45分（1時間20分）	3時間35分（2時間45分）	7時間20分（5時間30分）	14時間40分（11時間5分）
MP4 12M	15分	40分	1時間20分	2時間45分	5時間30分	11時間5分
MP4 6M	35分	1時間15分	2時間40分	5時間20分	10時間50分	21時間45分
MP4 3M	1時間10分	2時間20分	4時間55分	9時間55分	20時間	40時間10分

（　）内は最低記録時間です。

- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です（商品仕様による制限）。
  MP4（12M）の連続で撮影できる時間は約15分です（ファイルサイズ2GBによる制限）。

ご注意

- 内蔵メモリーには動画は記録できません。
- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため記録時間が変動します。
  動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
  また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

もっと詳しく知りたい（サイバーショットユーザーガイド）

「サイバーショットユーザーガイド」はオンラインで見るマニュアルです。
さらに詳しい使い方を知りたいときにご覧ください。

1 サポートページにアクセスする。

http://www.sony.jp/support/manual_dsc.html

2 サイト内で本機の型名を探して「ユーザーガイド(HTML)」を開く。

- 型名は本機の底面をご覧ください。

検索エンジンで探す

お使いの検索エンジンで「型名」、「ユーザーガイド」を入力して検索することもできます。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ **以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットユーザーガイド(HTML)」も参照し、本機を点検する。**

モニターに「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットユーザーガイド」をご覧ください。

❷ **バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

❸ **設定リセットをする(70ページ)。**

❹ **サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。**

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ **相談窓口に電話で問い合わせる(裏表紙)。**

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

その他

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください(15ページ)。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(15ページ)。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しずつ消耗します。充電してからお使いください。
- NP-BNまたはNP-BN1タイプのバッテリーかご確認ください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[強]のときに、操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。
- [パワーセーブ]設定が[切]または本体をACアダプターと接続してコンセントから電源を供給している場合でも、一定時間が経過するとモニター保護のためモニターが消えます。もう一度表示するにはモニターをタッチしてください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリー充電中、本機の充電ランプが点滅する。

- NP-BNまたはNP-BN1タイプのバッテリーかご確認ください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電すると、本機の充電ランプが点滅することがまれにあります。その場合はカメラからバッテリーを取り出し、入れなおしてください。

充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～ 30℃の環境で行ってください。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの空き容量を確認してください(72ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください(57ページ)。
  – メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は以下のメモリーカードをおすすめします。
  – "メモリースティック マイクロ" (Mark2)
  – microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカード、microSDXC メモリーカード(Class4以上)
- [デモモード]を[切]にしてください。

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本体で再生するには「PlayMemories Home」をご使用ください。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。
- 3D静止画はJPEGファイルとMPOファイルから構成されています。パソコン上でどちらかのファイルを削除した場合、本機の機能が正しく動作しないことがあります。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

レンズやフラッシュ発光部をきれいにする

レンズやフラッシュ発光部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

モニターのお手入れ

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のごみなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約–10 ℃～ +40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

バッテリーとメモリーカードを抜いて、バッテリー /メモリーカードカバーを開けたまま、くもりが取れるまで乾燥したところに置いてください。結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

本機の廃棄/譲渡に関するご注意

個人情報保護のため本機を廃棄・譲渡するときには以下の操作を行ってください。

- 内蔵メモリーのフォーマット(57ページ)を行った後、レンズを覆って内蔵メモリー容量いっぱいに撮影し、再度内蔵メモリーのフォーマットを行います。これにより流出させたくないデータの復元を困難にできます。
- [設定リセット] → 全ての設定をリセットする(70ページ)

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10℃ ～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機を湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（67ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

本機はNP-BN（同梱バッテリー）およびNP-BN1（別売バッテリー）を使用できます。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。
修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

安全のために

→2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

禁止

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

指示

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

禁止

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

禁止

つづき

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AF補助光、LEDライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

油煙のあるところでは使わない

火災の原因になることがあります。

電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを、ぬれた手や、水滴のかかる場所、湿気、ほこり、湯気の多い場所で使わない

機器本体以外は防水/防塵仕様ではありません。

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

つづき

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	• 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。 • 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 • 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 • 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 • 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。	 禁止
⚠警告	• 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 • バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。 • アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。 • 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。	 禁止
⚠注意	• 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。 • 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。	 指示

お願い	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。
	 Li-ion リチウムイオン電池
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、 一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.76 mm（1/2.3型）
Exmor R CMOSセンサー
総画素数：約1890万画素
カメラ有効画素数：約1820万画素
レンズ：カール ツァイス バリオ・テッサー 5倍ズームレンズ
f=4.7 mm ～ 23.5 mm
（26 mm ～ 130 mm（35 mmフィルム換算値））、F3.5（W）～ F4.8（T）
動画撮影時（16：9）：28 mm ～ 140 mm*
動画撮影時（4：3）：35 mm ～ 175 mm*
* [動画手ブレ補正]が[スタンダード]のとき
手ブレ補正：光学式
露出制御：自動、シーンセレクション
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ、ワンプッシュ
記録方式：
静止画記録方式：
JPEG（DCF、Exif、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
3D静止画記録方式：MPO
（MPF Extended（立体視））準拠
動画記録方式（AVCHD方式）：
AVCHD規格 Ver. 2.0準拠
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

動画記録方式（MP4方式）：
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch
記録メディア：内蔵メモリー 約48 MB、"メモリースティック マイクロ"、microSD メモリーカード
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.08 m～ 3.3 m（W）/約0.6 m～ 2.4 m（T）

[入出力端子]

HDMI端子：HDMIマイクロ端子
マルチ/マイクロUSB端子*：USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0）
* この商品にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

[モニター]

有機ELモニター：ワイド（16:9）、8.3 cm（3.3型）
総ドット数：1 229 760ドット相当

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパックNP-BN、3.6 V
ACアダプター AC-UB10/UB10B/UB10C/UB10D、5 V
消費電力（撮影時）：約1.0 W
動作温度：－10 ℃～ +40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法（CIPA準拠）：
96.4 mm×59.3 mm×15.4 mm
（幅×高さ×奥行き）
本体質量（CIPA準拠）
（バッテリー NP-BN、"メモリースティック マイクロ"を含む）：
約140 g
マイクロホン：ステレオ
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
防水/防塵性能：JIS保護等級 IP68相当
（水深10 m、連続60分間の水中撮影が可能）
耐衝撃性能：MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠して行った、1.5 mの高さから厚さ5 cmの合板上への単体落下テストをクリア
防水・防塵・耐衝撃性能は当社の試験基準によるものです。

ACアダプター AC-UB10/UB10B/UB10C/UB10D

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、
50 Hz/60 Hz、70 mA
定格出力：DC 5 V、0.5 A
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約50 mm×22 mm×54 mm
（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約48 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-BN

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：2.3 Wh（630 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。
Cyber-shot、
"サイバーショット"、"Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK ™、"Memory Stick Micro"、"メモリースティック マイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"ブラビア"、"ブラビアプレミアムフォト"
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、
ソニー株式会社と
パナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、iMovieはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、Pentium、Intel CoreはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、PSロゴ、"プレイステーション"および"PlayStation"は同社の登録商標です。

- Facebook、"f"ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

- "Works with PlayStation 3"ロゴは、特定のPlayStation 3専用ソフトウェアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品につけるマークです。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

記号・数字順

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。
英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	**修理相談窓口**
フリーダイヤル ・・・・・・・・・**0120-333-020**	フリーダイヤル ・・・・・・・・・**0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・**0466-31-2511**	携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・**0466-31-2531**
	※ 取扱説明書等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）**0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「401」+「#」（本機や付属品）
「404」+「#」（ソフトウェア「PlayMemories Home」）
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

4456209010